

A I を活用した観光交通マネジメント

観光客が集中する一部の地域や時間帯等によっては、過度の混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度低下への懸念が生じています。これらの課題に対処するため、観光地の混雑情報提供による空間的・時間的な集中の分散、交通量・速度や気象、曜日配列データ等を用いたAI渋滞予測など、地域の関係者と連携した効果的な観光交通マネジメントを展開していきます。

京都市内オーバーツーリズム対策

混雑状況



清水坂 (R6.11撮影)



嵐山付近 (R6.12撮影)



京都駅バスターミナル (R6.11撮影)

観光地の混雑状況をAIで分析



人流データ
滞在状況 (滞在者数他)

観光地



AI画像解析データ
歩行者状況 (歩行者数他)



ETC2.0

プローブデータ
渋滞状況 (旅行速度他)

道路



AI画像解析データ
交通状況 (交通量他)



ナンバープレート検出

現在の取り組み

情報発信

京都観光デジタルマップ ~Kyoto Smart Navi~ (京スマ)

統合型情報提供プラットフォーム



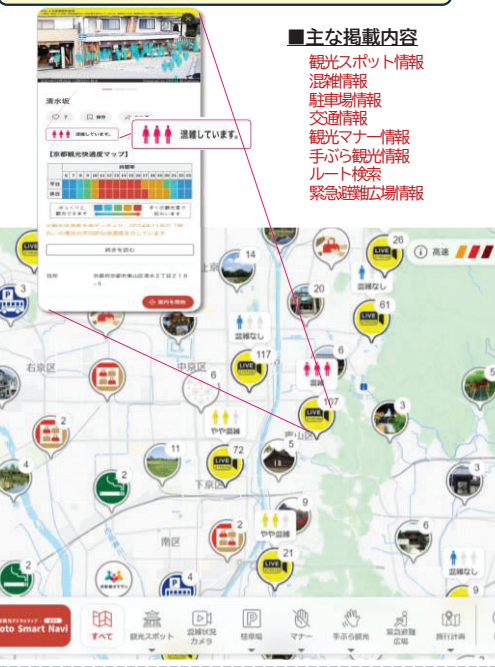
道路交通



駐車場



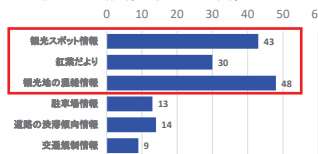
観光施設



京都観光デジタルマップの利用者評価 (R6年度秋 アンケート結果)

- ・紅葉だよりや混雑情報等が好評、利用者の多くが役に立ったと回答。
- ・一方で、操作性や追加機能に関する意見もあり、改善の余地が残る。

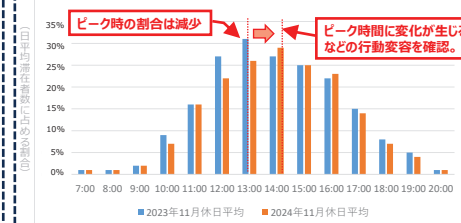
マップで役立った情報 (複数回答)



観光客の滞在時間の変化 (行動変容)

- ・人流データ等を用いて、各観光地における時間別来訪者状況^{※1}を分析。
- ・情報提供を行う事で、行動変容に一定の効果があったと考えられる。

時間帯別来訪者割合^{※2} (嵯峨嵐山駅前)



	日米訪客数(千人)	年間月平均訪客数(千人)
R5.11	13.3	10.8
R6.11	10.8	2.6

※1 特定の携帯アプリ利用者かつ旅行者が対象。
※2 時間帯別来訪者割合は、時間帯別滞在延べ人数を平均日米訪客数で割り戻した割合。

将来

評価

分析

京都市・観光協会と連携し、
広域的・戦略的な情報発信を展開

【関連ページ】
京都観光デジタルマップ
~Kyoto Smart Navi~